

# まちのわだい

「10歳おめでとう」  
とっとり花回廊が開園10周年

4月18日(土)、鳥取県の「全県公園化構想」のシンボル施設として平成11年4月にオープンしたとっとり花回廊が、開園10周年を記念して記念セレモニーを開催されました。

セレモニーの他にも、鳥取県警音楽隊によるコンサートやNHK趣味の園芸キャスターの須磨佳津江さんの講演や花のバースデーケーキの展示など、様々な催しが開催され、好天に恵まれたこともあり、多くの観光客で賑わいました。



花の絨毯の向こうに、大山が美しい姿を見せていました

## 第5回伯耆町バドミントン大会 楽しみ方はいろいろ

4月19日(日)、伯耆町岸本体育館で、第5回伯耆町バドミントン大会が開催されました。大会には、伯耆町全域から23のチームが参加し、対戦相手と一緒に笑いつつ必死に試合をするチーム、久しぶりに体を動かして、転んで冷や汗をかくチーム、ついつい必死になつてしまえばパートナーをおしのけてしまふチームなど様々でした。みなさん楽しみながら、さわやかな汗を流していました。



笑いの絶えないゲームでした

大会結果は次のとおりです。  
優勝 伯耆ニュータウンA  
準優勝 駅前A  
第三位 吉長A・役場

## 「天空リフト」 新緑の榊水高原に賑わい



いよいよ観光シーズン到来です

4月19日、榊水高原の観光リフト「大山榊水天空リフト」がオープンしました。

大山の中腹にある榊水高原では、さわやかな風に髪をなでられながら、多くの家族連れが、お弁当を広げたり、キャッチボールをしたり、散策を楽しんでいました。

## 「大山が好きだから」 自然を守る活動に寄付

4月28日(火)、伯耆町役場で、こしき団地の香川正博さんが、大山横手道上ブナを育成する会に寄付されました。香川さんは、山口県出身で、

## 平成21年4月 伯耆町区長協議会定例会

4月28日(火)、伯耆町農村環境改善センターで、伯耆町区長協議会定例会が開催されました。石原区長協議会会長のあいさつの後、町から平成21年度の各種事業について説明がありました。最後に平成21年度伯耆町区長協議会事業計画(案)及び収支予算(案)について、活発な質疑・討論を経て承認を得ました。主な平成21年度の活動は、次のとおりです。

- 定例会 2月・4月・12月
- 環境美化活動 6月21日(日)
- 防犯・防災活動 9月27日(日)
- 先進地視察研修 7月上旬
- 講演会 12月頃

## 伯耆ニュータウン 願いをこめて

4月29日、空は青く、爽やかな陽ざしの中、伯耆ニュータウンの老人クラブ「伯友会」と子ども会が、伯耆ニュータウンの公園などに鯉のぼり4本を揚げました。

## 「丸山大成池ふれあい祭」 子どもたちの歓声あふれる



青空に泳ぐ鯉のぼりの姿がたのしみです

これは、世代間交流により、高齢者は、子どもたちの健やかな成長を願うとともに子どもたちから元気をもらい、子どもたちは、高齢者から様々な知恵を授かり、生きる力をもとに得ることを目的に集落で取り組まれました。鯉のぼりは、参加者37人分の温かい思いをのせて、風に尾をたなびかせています。

5月4日(月)みどりの日に、丸山の大成池周辺でふれあい祭が開催されました。

このお祭は、丸山の住民の方々と丸山内の企業で結成されている丸山大成池ふれあい祭実行委員会が毎年実施しているものです。当日は、地元の方、観光・別荘に来られた方など県内外から

大勢の家族連れが訪れ、池での釣り大会や直径が約20cmある杉の間伐材の丸太切り競争など、好天の下、自然を満喫していました。



マスのつかみ捕りで大人も子どもも大興奮

また、近くのロイヤルホテルから平成の名水百選に選ばれた地蔵滝の泉までの約2kmのウォークラリーや、ゲートボール大会、丸山特産の八郷米や地元野菜を使ったカレーや、山菜の天ぷらなど集落の出店が立ち並び、手作りながらも集落挙げての盛大なお祭りとなりました。つかみ捕りでは、大成池から流れる小川に約三百匹のニジマスが放たれ、子どもたちが歓声を上げて、体中びしょ濡れになりながら先を争うようにつかみ捕りに熱中していました。

## 下水道への早期接続をお願いします

下水道処理区域に住宅や店舗をお持ちの方、下水道への接続はお済でしょうか？  
下水道に接続いただきますと、より清潔で快適な生活を送ることができるとともに、自然環境の保全にもつながります。

下水道が使えるようになった地域の方は、1日も早く下水道に接続してください。  
なお、接続の際は、必ず伯耆町排水設備指定工事店に工事の依頼をしてください。  
詳しくは、地域整備課 上下水道室にご相談ください。

【問合せ先】 地域整備課 上下水道室 電話 68-5540

香川さんは、この会の活動の趣旨に賛同し、ボランティア活動に参加しておられ、この度、大好きな大山を守り育てる活動のために寄付をされました。



町長室で、寄付をいただきました

仕事で鳥取県西部に赴任しておられました。が、大山の美しさに魅せられて、こしき団地に住居を構えられ、伯耆町に定住されました。

大山横手道上ブナを育成する会は、伯耆町長が会長を務め、美しい緑のブナの森「大山」を指して、「ブナの里親」制度、植樹祭や自然観察会などのボランティア活動を実施しています。4月26日には、第55回鳥取県植樹祭において緑化功労者として県知事表彰を受賞されました。